



生徒の皆さんへ

高校生活がスタートして、一週間程度が経過しましたが、いかがでしょうか。さて、今年度から、皆さんに伝える新たなメッセージとして「校長室だより」をスタートさせました。日々、学校内外で感じる事、嬉しいこと、伝えたいことなどを、ありのままに発行(月1回程度)できたらと考えています。私は日頃から皆さんの元気な姿に感謝、素直な心に感謝、今日一日に感謝を感じています。

なお、この便りには保護者向けの内容もありますので、生徒の皆さんは本紙の家庭への持ち帰りをお願いします。 室屋 洋一

日々是好日(にちにちこれこうじつ)

日々是好日とは、毎日が好日だという単純な意味ではありません。自分にとって毎日は都合の好い日もあれば、悪い日もあるという意味でもありません。

確かに、高校生活の中では嬉しい楽しいことばかりではなく、嫌なことも、結構ありますよね。日々好日どころか、毎日が悪日の連続なんてこともあったりします。

それでも、この言葉を残した中国の雲門禅師は「日々是好日」と諭しました。

禅師曰く、毎日を好日や悪日と区別していけない。つまり、自分にとって、たとえどんなに都合が悪いことが起こっても、あるがままを受け入れて、貴重な体験や成長の機会と捉えれば、悪い日も好日へ転換するといわれているのです。例えば病気をしたおかげで健康のありがたさが身にしみてわかるようなものです。

確かに、勉強や何でもうまくいかなければ落ち込みます。しかし、大事なことは「うまくいかない自分を素直に受け入れて、一緒に生きる」ことです。いつまでも過ぎてしまったことにこだわらず、目の現実が喜びであろうと悲しみであろうと、日々感謝して「ただ今、この一瞬を精一杯に生きる」ことが大切です。一日として、同じ日はありません。

その一瞬の積み重ねが日々となり、明日の自分をつくるのです。



つみかさね

一球一球のつみかさね
一打一打のつみかさね
一歩一歩のつみかさね
一坐一坐のつみかさね
一作一作のつみかさね
一念一念のつみかさね

つみかさねの上に 咲く花
つみかさねの果てに 熟する実

それは美しく尊い
真の光を放つ

～坂村真民～

学問に王道なし (There is no royal road to learning)

諸説ありますが、紀元前300年頃、エジプトのプトレマイオス王が当時、学問を教わる古代ギリシャの数学講師ユークリッドに「苦勞しないで幾何学を学ぶいい方法はないのか」と尋ねました。その時、ユークリッドが王の問いに対して言った言葉が「幾何学（学問）に王道なし」であったと言われています。「たとえ、王様であっても、地道に学習しなければ幾何学はできるようにはなりませんよ」と王をなだめた言葉だと言われています。

皆さんは地道に学習していますか。王道はありませんが、地道な努力こそ学問の正道です。ちなみに「土台となる大事なものは表に出ない、隠れて見えない」と言われます。建物の基礎部分、水道の上下水道管、ガジュマルの根っこ、百合の根など数えれば切りがありません。

日々、怠らない地道な努力こそ、学問の土台になります。簡単に手に入れたものは失いやすく、苦勞して手に入れたものはなかなか簡単には身体から抜けていきません。毎日、積み重ねていく継続した努力こそが、自分の人間性にも磨きをかけるチャンスにもなります。続けていない生徒は、気づいた今から、今日から始めませんか。始めるに遅すぎることなんてありません。今から、ここからが新たな始まりです。

学問に
王道なし

対面式 (令和2年4月8日(水))

初々しい新入生の入場に始まり、全学年揃っての対面式が体育館で行われました。今年度は、感染症対策として生徒同士の座る間隔を拡げて行いましたが、全校生徒253名が一堂に会して、令和2年度スタートとなりました。生徒会長の吉田美空さん(3-1)の心温まる歓迎のあいさつ、そして、新入生代表の速水陸旗さん(1-3)から力強い代表あいさつがありました。新入生の皆さんは一日も早く沖高に慣れて欲しいものです。その後、校長あいさつや生徒会執行部8名の紹介があり、沖高生徒会も、対面式を契機に令和2年度が本格的に始動いたしました。



保護者の皆様へ

この度の定期人事異動によって、校長となりました室屋(むろや)と申します。高校生活が始まり一週間位が経ちましたが、お子様の様子はいかがでしょう。保護者の皆様にも、沖高への御理解、御協力をいただくために、稚拙な内容ではありますが、今年度から「校長室だより」を御高覧いただければ幸いです。私も微力ではございますが、沖高生のために努力して参る所存でございます。

何卒、今後とも、お子様の健やかな成長と沖高の更なる発展、ひいては沖永良部島の繁栄ならびに活性化のために、保護者の皆様につきましては、本校PTA活動を軸に、連携・協力していただきますよう宜しくお願い申し上げます。